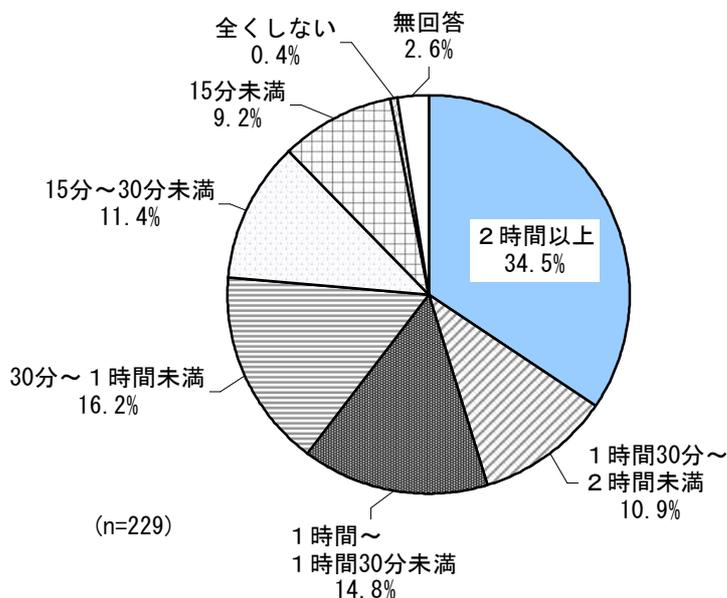


2. ふだんの生活状況

(1) 子どもとの会話時間

問 あなたは一日の中でお子さんとどれくらい話をしますか。(〇は1つ)

【図Ⅲ-2-1 子どもとの会話時間】

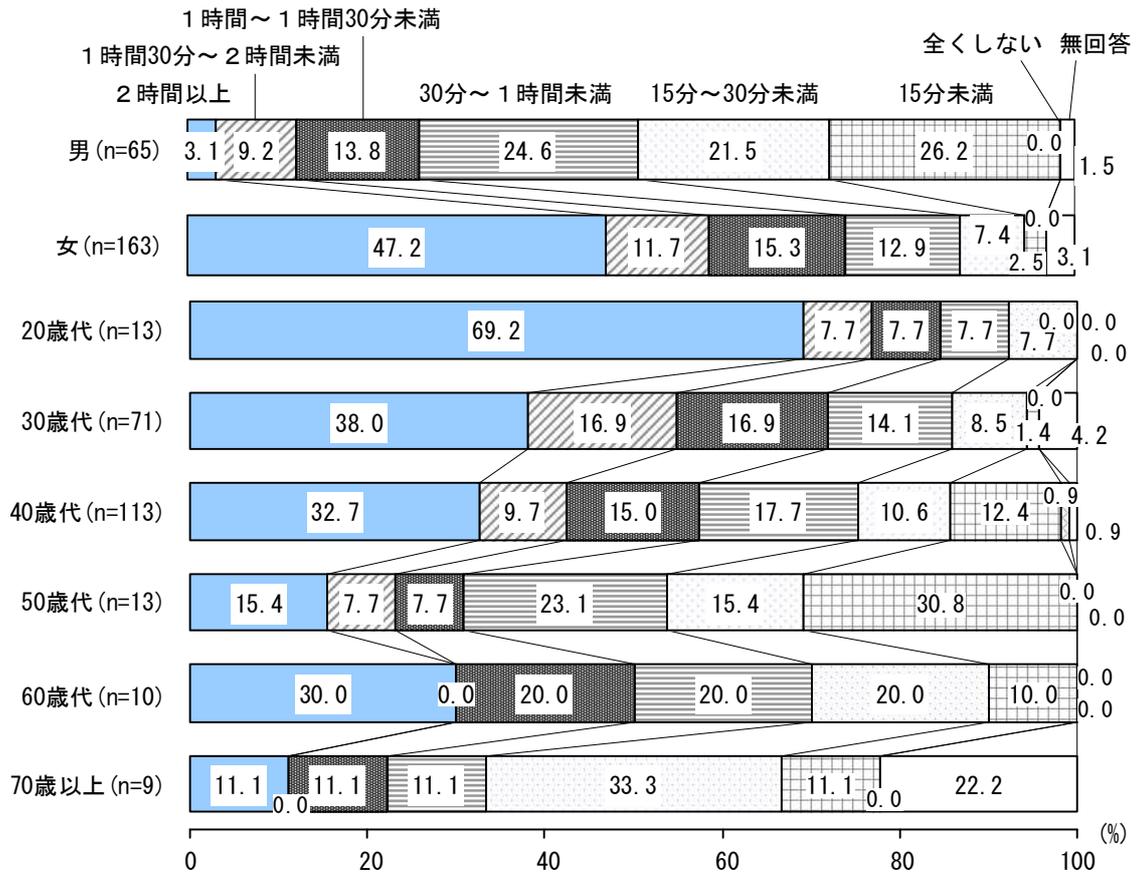


子どもとの会話時間については、「2時間以上」が34.5%で最も高く、次いで「30分～1時間未満」が16.2%、「1時間～1時間30分未満」が14.8%であり、約2割が30分未満(21.0%)となっている。(図Ⅲ-2-1)

性別でみると、男は「15分未満」(26.2%)が最も高く、次いで「30分～1時間未満」(24.6%)となっているが、女は「2時間以上」(47.2%)が最も高く、次いで「1時間～1時間30分未満」(15.3%)となっている。

年齢別でみると、20～40歳代、60歳代は「2時間以上」が最も高く、なかでも20歳代が69.2%で最も高くなっている。また、50歳代は「15分未満」(30.8%)が最も高く、70歳以上は「15分～30分未満」(33.3%)が最も高くなっている。(図Ⅲ-2-1-①)

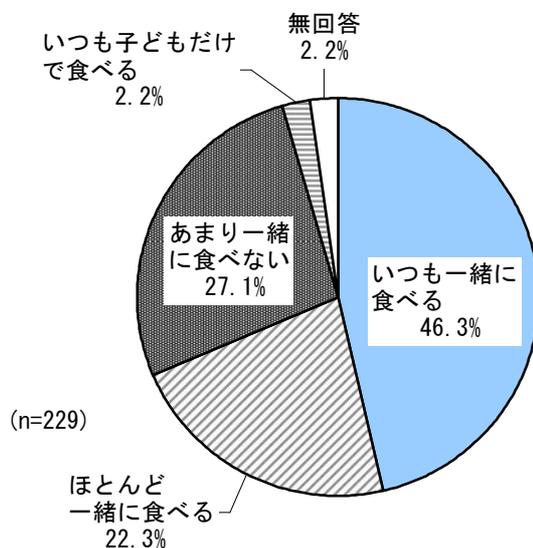
【図Ⅲ-2-1-① 性別・年齢別 子どもとの会話時間】



(2) 子どもとの夕食の共食頻度

問 あなたはお子さんと一緒に夕食を食べますか。(○は1つ)

【図Ⅲ-2-2 子どもとの夕食の共食頻度】

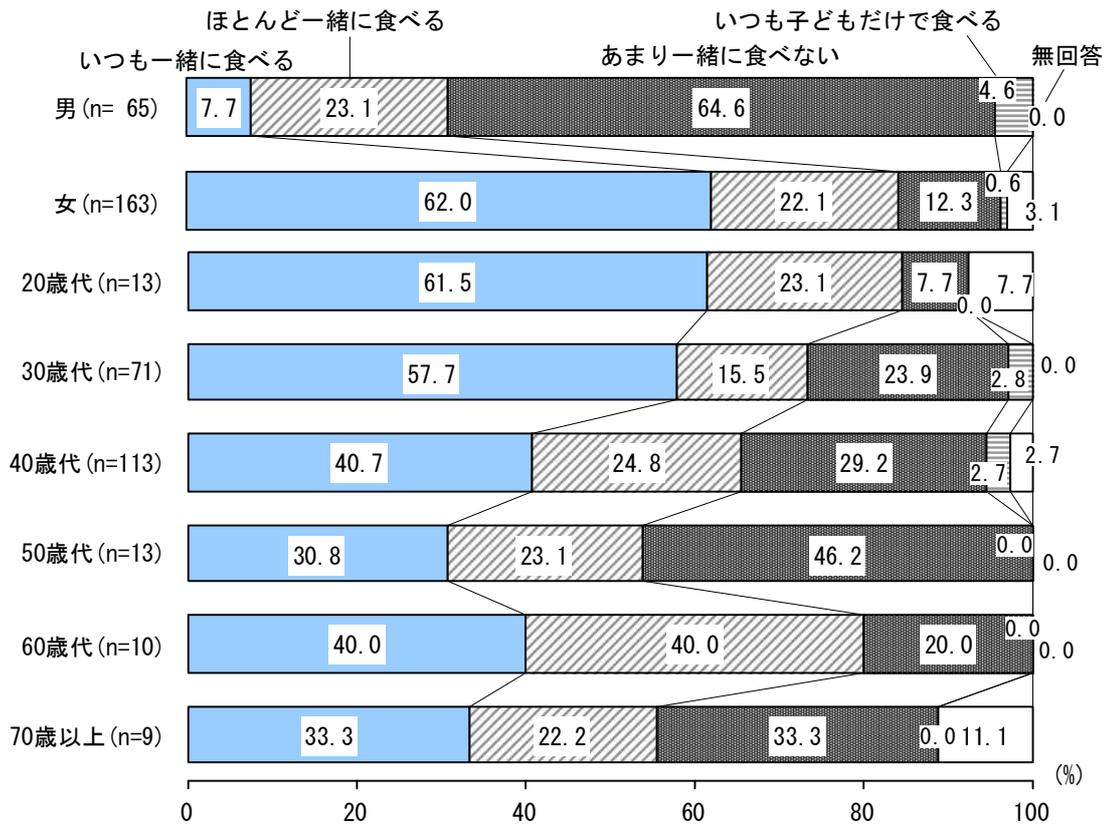


子どもとの夕食の共食頻度については、「いつも一緒に食べる」が46.3%で最も高く、次いで「あまり一緒に食べない」が27.1%となっており、『一緒に食べない』（「あまり一緒に食べない」と「いつも子どもだけで食べる」をあわせた割合）は29.3%を占める。（図Ⅲ-2-2）

性別で見ると、男は「あまり一緒に食べない」（64.6%）が最も高く、『一緒に食べない』（69.2%）が約7割を占めている。一方、女は「いつも一緒に食べる」（62.0%）が最も高くなっている。

年齢別で見ると、20～40歳代は「いつも一緒に食べる」が最も高くなっているが、50歳代では「あまり一緒に食べない」（46.2%）が最も高くなっている。（図Ⅲ-2-2-①）

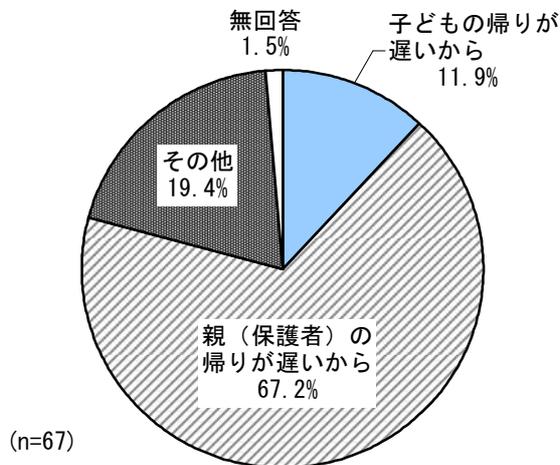
【図Ⅲ-2-2-① 性別・年齢別 子どもとの夕食の共食頻度】



(3) 子どもと一緒に食べない理由

問 それほどのような理由からですか。(主なもの1つだけに○)

【図Ⅲ-2-3 子どもと一緒に食べない理由】

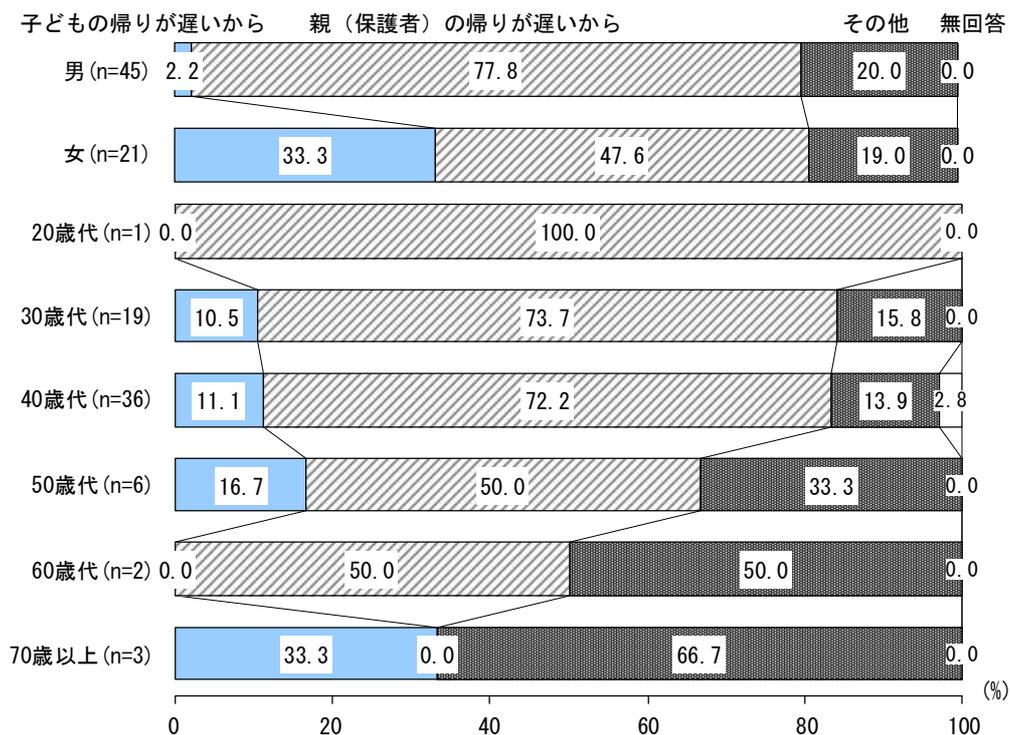


夕食を子どもとあまり一緒に食べない、もしくはいつも子どもだけで食べると回答した人にその理由をたずねると、「親(保護者)の帰りが遅いから」が67.2%で最も高く、次いで「子どもの帰りが遅いから」が11.9%となっている。(図Ⅲ-2-3)

性別で見ると、男女とも「親(保護者)の帰りが遅いから」が最も高く、女(47.6%)より男(77.8%)のほうが約3割高くなっている。一方、「子どもの帰りが遅いから」は男(2.2%)より女(33.3%)のほうが約3割高くなっている。

年齢別で見ると、「親(保護者)の帰りが遅いから」は年齢が上がるにつれて、割合が低くなっている。(図Ⅲ-2-3-①)

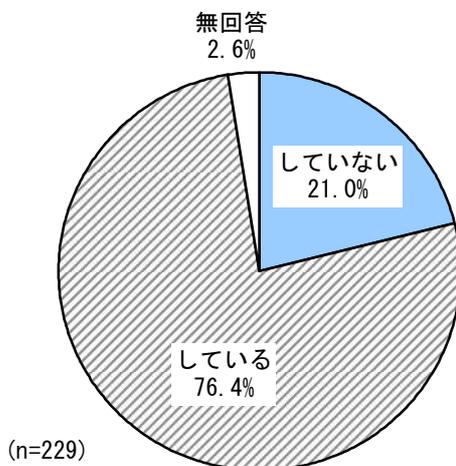
【図Ⅲ-2-3-① 性別・年齢別 子どもと一緒に食べない理由】



(4) 子どもの部活や塾、習い事の状況

問 あなたのお子さんは部活や塾に行ったり、習い事をしていますか。(どちらかに○)

【図Ⅲ-2-4 子どもの部活や塾、習い事の状況】

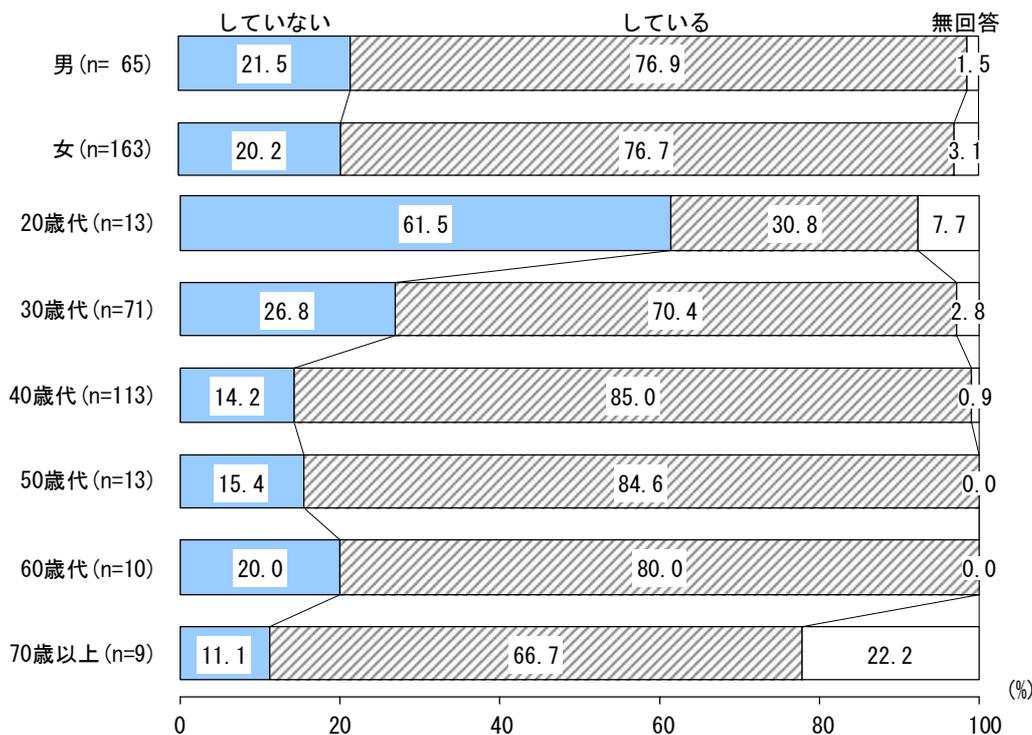


子どもの部活や塾、習い事の状況については、「している」が76.4%に対し、「していない」が21.0%となっている。(図Ⅲ-2-4)

性別でも、大きな差はみられない。

年齢別で見ると、「していない」は20歳代(61.5%)で最も高く、「している」は40~60歳代で8割台と高くなっている。(図Ⅲ-2-4-①)

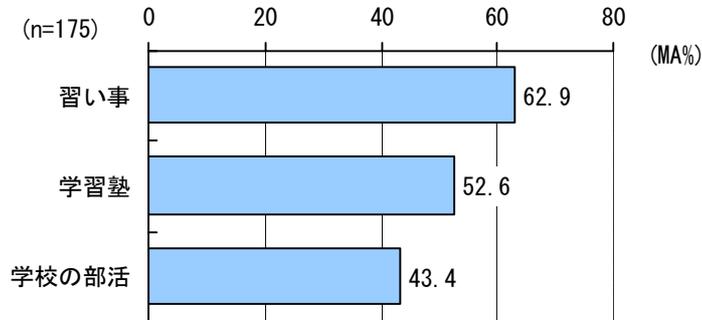
【図Ⅲ-2-4-① 性別・年齢別 子どもの部活や塾、習い事の状況】



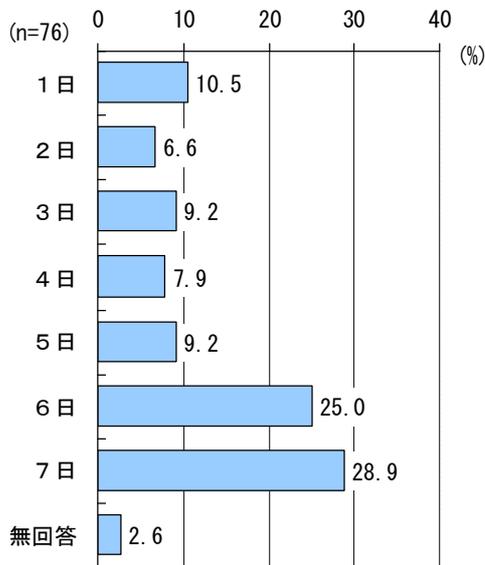
(5) 子どもの部活や塾、習い事の内容

問 何をしていますか。それは、週に何日、合計どれぐらいの時間ですか。
(あてはまるものすべてに○)

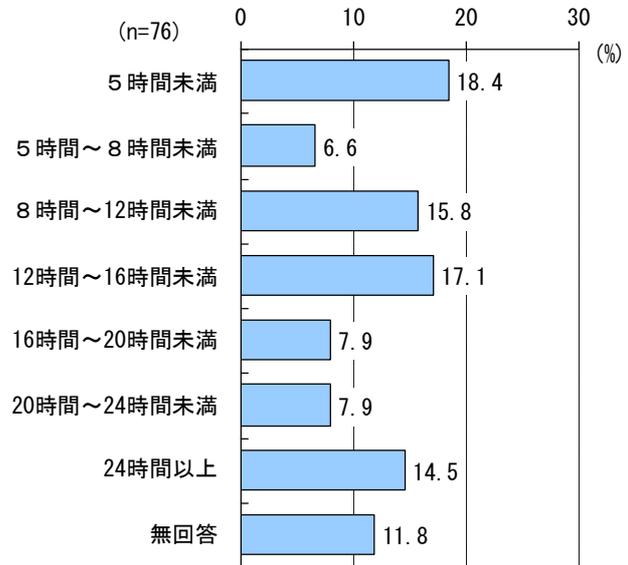
【図Ⅲ-2-5 部活や塾、習い事の内容】



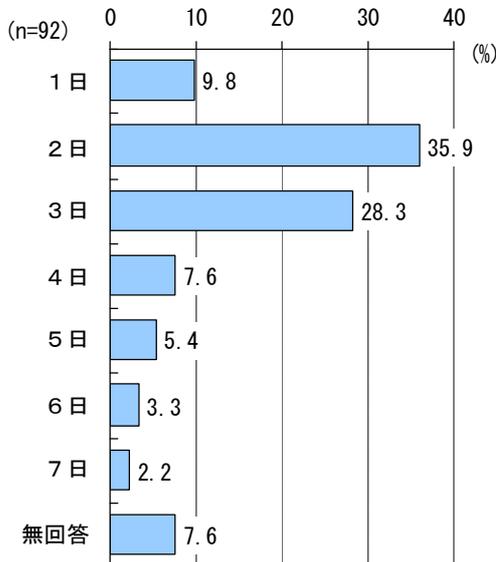
【図Ⅲ-2-5-1 学校の部活の活動日数/週】



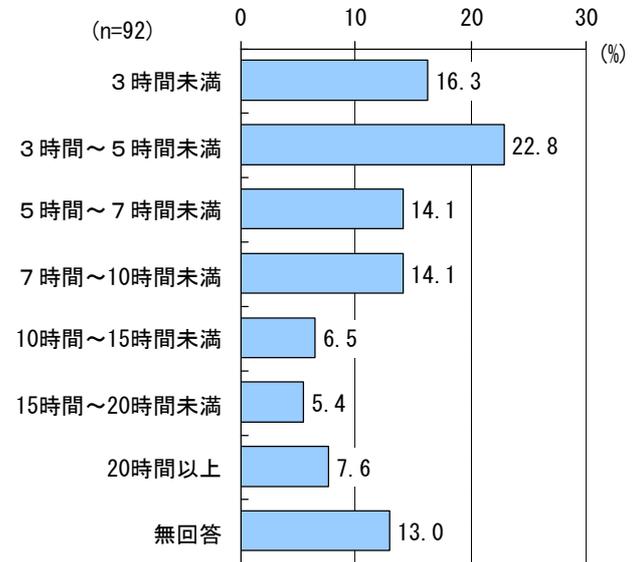
【図Ⅲ-2-5-2 学校の部活の活動時間数/週】



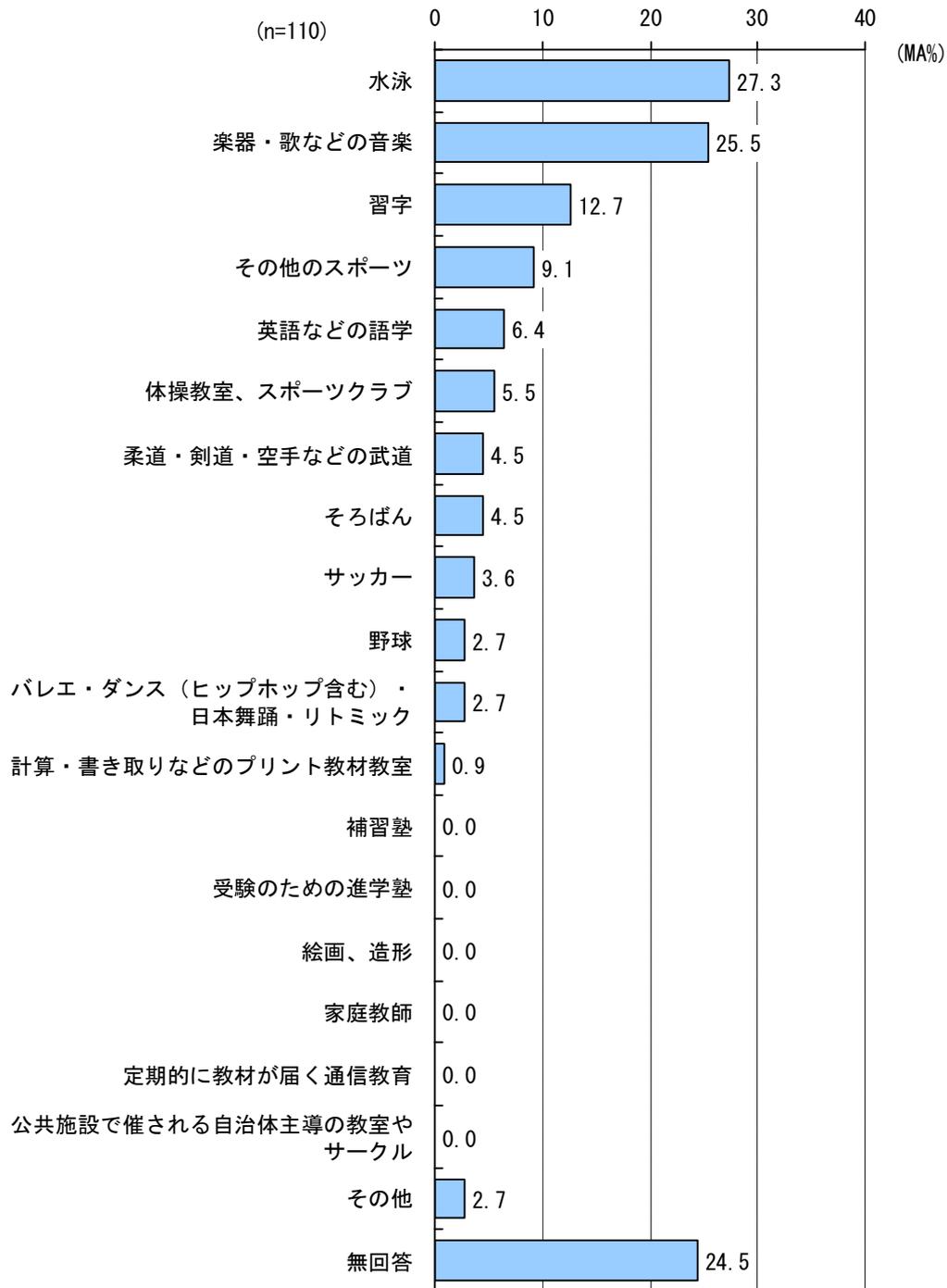
【図Ⅲ-2-5-3 学習塾に通っている日数/週】



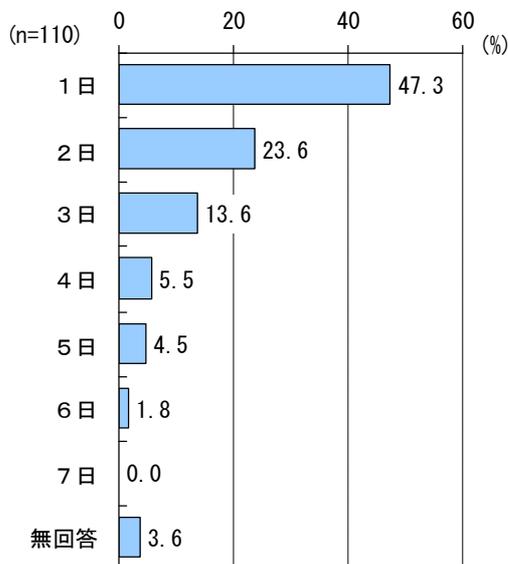
【図Ⅲ-2-5-4 学習塾に通っている時間数/週】



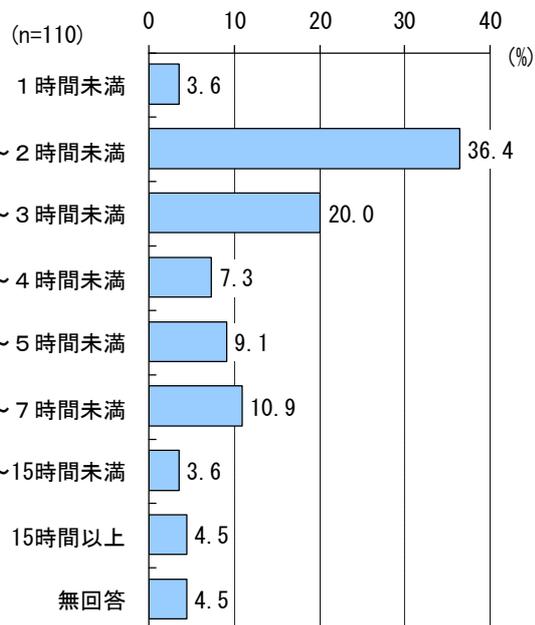
【図Ⅲ-2-5-5 通っている習い事】



【図Ⅲ-2-5-6 習い事に通っている日数/週】



【図Ⅲ-2-5-7 習い事に通っている時間数/週】



子どもが部活や塾、習い事をしていると回答した人に、その内容や通っている日数、時間についてたずねた。

内容は、「習い事」が62.9%で最も高く、次いで「学習塾」が52.6%、「学校の部活」が43.4%となっている。(図Ⅲ-2-5)

学校の部活の活動日数については、「7日」が28.9%で最も高く、次いで「6日」が25.0%であり、両方をあわせた週6日以上(53.9%)が約半数を占めている。また、平均日数は4.9日/週となっている。(図Ⅲ-2-5-1)

学校の部活の活動時間数については、「5時間未満」が18.4%で最も高く、次いで「12時間～16時間未満」が17.1%、「8時間～12時間未満」が15.8%となっており、平均時間は12.9時間/週となっている。(図Ⅲ-2-5-2)

学習塾に通っている日数については、「2日」が35.9%で最も高く、次いで「3日」が28.3%、「1日」が9.8%となっている。また、平均日数は2.8日/週となっている。(図Ⅲ-2-5-3)

学習塾に通っている時間数については、「3時間～5時間未満」が22.8%で最も高く、次いで「3時間未満」が16.3%、「5時間～7時間未満」と「7時間～10時間未満」が共に14.1%となっている。また、平均時間は、7.6時間/週となっている。(図Ⅲ-2-5-4)

通っている習い事については、「水泳」が27.3%で最も高く、次いで「楽器・歌などの音楽」が25.5%、「習字」が12.7%となっている。(図Ⅲ-2-5-5)

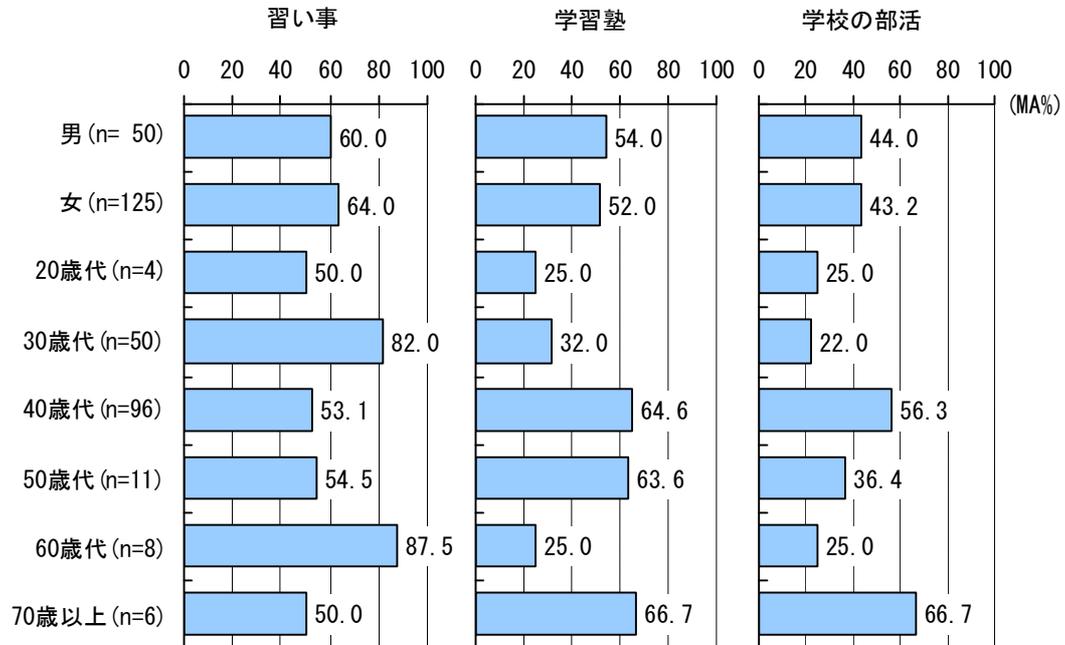
通い事に通っている日数については、「1日」が47.3%で最も高く、次いで「2日」が23.6%、「3日」が13.6%であり、平均日数は2.0日/週となっている。(図Ⅲ-2-5-6)

通い事に通っている時間数については、「1時間～2時間未満」が36.4%で最も高く、次いで「2時間～3時間未満」が20.0%、「5時間～7時間未満」が10.9%であり、平均時間は3.3時間/週となっている。(図Ⅲ-2-5-7)

内容について、性別で見ると、男女とも「習い事」が最も高く、男(60.0%)より女(64.0%)のほうが4.0ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、20・30・60歳代は「習い事」が最も高いが、40・50歳代は「学習塾」が最も高くなっている。(図Ⅲ-2-5-①)

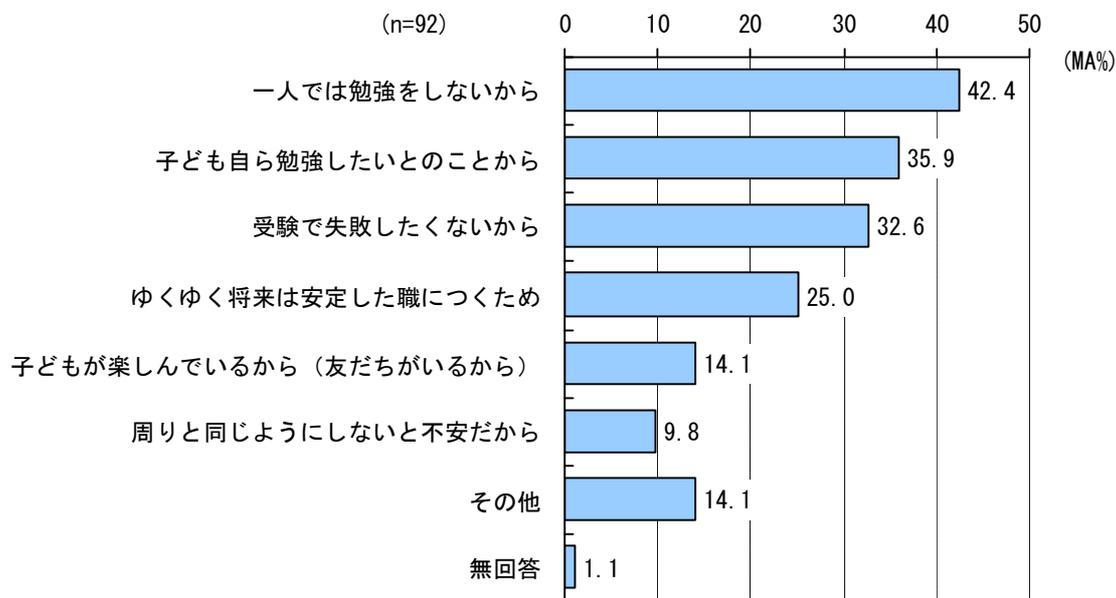
【図Ⅲ-2-5-① 性別・年齢別 部活や塾、習い事の内容】



(6) 子どもが学習塾に通っている理由

問 お子さんが学習塾に通っているのはどのような理由からですか。(あてはまるものすべてに○)

【図Ⅲ-2-6 子どもが学習塾に通っている理由】



子どもが学習塾に通っていると回答した人に、通っている理由をたずねると、「一人では勉強をしないから」が42.4%で最も高く、次いで「子ども自ら勉強したいとのことから」が35.9%、「受験で失敗したくないから」が32.6%となっている。(図Ⅲ-2-6)

性別で見ると、「一人では勉強をしないから」は男(33.3%)より女(46.2%)のほうが12.9ポイント高く、「ゆくゆく将来は安定した職につくため」は女(20.0%)より男(37.0%)のほうが17.0ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、30歳代は「子ども自ら勉強したいとのことから」(37.5%)が、40歳代は「一人では勉強をしないから」(46.8%)、50歳代は「受験で失敗したくないから」(71.4%)が最も高くなっている。(図Ⅲ-2-6-①)

【図Ⅲ-2-6-① 性別・年齢別 子どもが学習塾に通っている理由】

